

## 第 6 学年 総合的な学習の時間学習指導案

1 単元名 「21世紀を共に生きる」(環境・福祉・健康)

2 指導観

<こんな子どもだから>

核家族が多い本学年の児童は、高齢者が同居していないため、体が思うように動かない、目が見えにくくなるなどという老化現象を実感としてつかめていない。また、自分自身も老いていくという意識はほとんど無いと言える。さらに、高齢者は行動が遅い、話が古い等、敬遠しがちになったりする傾向も見られる。しかし、高齢者に対して思いやりのある行動ができる子どもも多い。これらは4年生の時に車椅子体験やアイマスク体験をし、また、校区にある老人保健施設を訪問して高齢者との交流を経験し、学んだ成果だと伝える。(関心・意欲・態度)

総合「ナガサキ」では平和の課題に対して、自分達が学習したことをゲストティーチャーの思いを汲んでまとめることができ、下級生にもわかりやすく発信することができた。また、「○○○人物事典」では地域の人達の活動する思いを感じ取り、自分の生き方にいかそうと考え、自分なりの言葉でまとめて発表することができた。さらに、友達のことを聞き合う中で互いを認めて聴く姿勢はできつつあるが、十分だとは言えない。(技能・表現)

子ども達は、これまでの学習で、人が様々な考えをもって生きていることを知り、それを認めながら、自分の生き方と比べいかそうと考えている。ただ、学んだことを実際にはどういかにせよよいのかは子ども達にとっては難しい課題だといえる。高齢者に対しては共感的な態度で接することは身に付いているが、手をさしのべたり、声をかけたり行動はできない。(総合的な思考・判断)

<こんな単元で>

この単元を通して自分が成長した過程を振り返り、成長と老化、健康・安全、老後と福祉、生活しやすい環境などについて、高齢者とのつながりを大切にしたり、共感的に考えたりすることは、これからの自分の生き方を見つめる上でも価値があると考えられる。また高齢者との交流を通して、自分を大切にする姿勢や人としての存在感、他者を尊敬する気持ちなどを身に付けさせる上でも意義深い。

老人会会長の N さんは、会長として旅行やスポーツ活動の計画・立案をし、高齢者の地域活動の中心として、生き生きと活躍されている。それらの姿を通して、老後の生きがいや健康について学ぶことができ、また○○○の町環境の現状や問題点などを学ぶことが出来ると考える。さらに N さんを通して地域の高齢者の方の考えや願いを知ることが、今後の自分の生き方を見直すと共に、地域の一員として自覚を持つことにつながる。

<こんな支援で>

「であう」過程では、高齢者から、体や気持ちの変化についての話を聴かせ興味関心をもたせたい。さらに疑似体験の感想から、学習課題を設定し、健康・生きがい、福祉、環境など、自分が調べる課題を持つように意欲を高めていきたい。

【知識的側面】・【価値的・態度的側面】

「さぐる」過程では、個人の課題を視点別にグループ化し、方法、計画等をグループで考えさせ、調べ活動に協力して取り組ませたい。なお、それに対する必要な準備(ゲストティーチャー、施設へのお願いななど)は教師の方で前もってしておきたい。ここでは、実際に人との出会いを通して、思いや願いを実感させながら課題解決をさせ、工夫して表現物にまとめさせたい。【技能的側面】

「まとめる」過程では、学年で交流会をし、ゲストティーチャーに意見をもらい、見直しをさせたい。さらに自分の家族や高齢者と共に生きていくこと、自分のこれからの生き方について考えさせ、自分ができることに取り組ませたい。

【価値的・態度的側面】

<めざす子どもの姿>

高齢者とのつながりを大切にし、高齢者の思いや願いを知り、生きがい、福祉や健康、環境について課題を持つことができる。(関心・意欲・態度)

自分の課題を解決するために、見通しを持って調べ、わかりやすくまとめることができる。また、自分なりに考えたことを自分の言葉で表したり、友達のことを聞きながら自分の考えに生かすことができる。(技能・表現)

高齢者に対する正しい認識と共感的な理解、協調して共に生きていこうとする態度を身につけさせ、今の自分の生き方を見直し、自分でできることを実践する。

(総合的な思考・判断)

3 指導計画（総計31時間）

過程	主な学習活動と内容	教師の支援と子どもの評価活動 教師の支援 子どもの評価活動
であう	<p>1 自分の体の成長について話し合う。 ・事前に親への聴き取り ・自分のアルバムなどから</p> <p>2 ゲストティーチャーの話から体や気持ちがどう変化するか知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ゲストティーチャー】 〇〇〇老人会会長 N さん</p> </div> <p>(1) 歳をとった自分の体や気持ちについて予想する。 (2) ゲストティーチャーの話から体や気持ちの変化について知る。 ・うれしいこと・きついこと・困っていること ・がんばっていること など (3) 高齢者の話をもとに、疑似体験をする。 ・アイマスク ・耳せん ・おもりをつける ・関節の固定 【6年〇組本時】 (4) 思ったこと、感じたことをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>高齢者の喜びや困ること、願いなどに気付く。 &lt;体験・交流活動 &gt;</p> </div> <p>3 学習課題をつくる。 (1) 今までの学習内容をもとに話し合い、学習課題をつくる。 (2) 学習課題に対する、自分の考えを考えマップにまとめる。 &lt;学習課題&gt; おじいちゃんやおばあちゃん達が、もっと楽しく暮らしていけるようにするには何が必要なのかを見つけよう。</p> <p>4 学習課題に対して自分の調べることを決める。 (1) 自分なりの理由をもとに学習課題に対するお互いの考えを聴き合う。 &lt;例&gt; ・健康が必要なのではないか ・楽しみや生き甲斐が大事なのではないか ・エレベーターやスロープがいるのではないか ・話し相手がいるのではないか 【6年〇組本時】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">聴き合い活動</span> (2) 友達の意見から自分の考えを付加修正し、自分の調べることを決める。 &lt;調べる視点&gt; 生きがいや楽しみについて 健康について 環境について</p>	<p>理科の学習「体のつくりとはたらき」と関連させ身近な問題としてとらえさせる。 親に自分の成長について聴く。</p> <p>学習プリントに歳をとった自分の絵を描かせることで意欲を持たせる。 高齢者とのコミュニケーションをする。 高齢者の思いや願いを理解する。 誰もが老化は進むという視点をもたせると共に高齢者の努力を考えさせる。 健康・安全(環境)福祉などの視点で、疑似体験する。</p> <p>児童の意見を視点ごとに整理して個人課題がつかみやすいようにする。 思ったこと、感じたことを友達との類似点や相違点を認めながら話し合う。 児童の考えを把握し、個別指導を行う。</p> <p>「考えマップ」をもとに聴き合い活動をさせる。</p> <p>友達の参考になる意見を、赤鉛筆で付加させる。</p> <p>教師の方で子ども達の考えから調べる視点をつくる。 自分の調べることが分かる。</p>
さぐる	<p>5 自分の課題解決に向けて調べる。 (1) 解決方法を視点別グループで話し合う。 ・老人会の人に聴く。 ・老人保健施設「光」に行き調べる。 ・校区の環境について調べる。 ・病院に行き調べる。 ・よく歩いている人に聴いてみる。 ・近くのお年寄りに聴く。 ・お年寄りの家</p>	<p>課題ごとにグルーピングを行う。 解決方法をより具体化していく。 事前に連絡をすること、その仕方など(質問の主な内容、時間、人数など知らせることを)を指導し、実際に自分で連絡させる。</p>

	<p>(2) 活動計画を立てる。</p> <p>(3) 調べ活動を通して情報を集める。 調べる視点として ・現状 ・工夫点 ・問題点</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ゲストティーチャー：課題解決に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の家族</li> <li>・老人憩いの家の方，</li> <li>・老人会の方</li> <li>・老人保健施設の方</li> <li>・病院の先生</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>課題解決のために・現状・工夫点・問題点など情報を集める。 ＜体験・交流活動＞</p> </div> <p>(4) 調べ活動を通して，分かったことや考えたことを聴き合う。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">聴き合い活動</span></p> <p>(5) 調べて分かったことを表現物にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・劇化（ビデオ作成）</li> <li>・壁新聞</li> <li>・ポスター</li> <li>・紙芝居</li> <li>・人権カレンダー</li> <li>・意見文</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<p>高齢者に対する話の仕方，丁寧語の使い方など，積極的・共感的な態度で聴く。</p> <p>課題追究のためにゲストティーチャーや施設などを訪問する場合には，児童が連絡をとる前に教師が事前に連絡をし，課題等について説明をする。</p> <p>聴き合った内容から自分の考えに付け加えをし，表現物に生かす。 楽しく伝えられるように表現物の仕方を工夫させたり，役割分担をさせたりする。 自分の予想，体験活動，教えてもらったことなど，一人ひとりの個性が出るように支援する。 現状，工夫，問題点など表現物にわかりやすく整理する。</p>
<p>まとめる</p>	<p>6 交流会を開いて活動のまとめをする。</p> <p>(1) 表現物をもとに交流会をする。</p> <p>(2) 自分達がお世話になったゲストティーチャーに報告し意見をもらう。</p> <p>(3) 自分達の表現物を見なおす。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分達が学んだことを表現し，高齢者に助言をもらう。 ＜体験・交流活動＞</p> </div>	<p>互いの学びを交流し，違う点や同じ点などを知り，自分達のまとめを見直すことができる。 表現物を使ったまとめを報告し，意見をもらい，表現物に反映させる。 一人ひとりに参加できるような場の設定を工夫する。</p>
	<p>7 これからも共に生きていく観点から自分達ができることを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>＜発展課題＞</p> <p>おじいちゃん，おばあちゃん達に楽しく，長生きしてもらうためにできることをしよう。</p> </div> <p>(1) 自分達に何ができるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの所に時々訪問する。</li> <li>・写真をとって，憩いの家に飾ってもらう。</li> <li>・お年寄りにあいさつをする。</li> <li>・福岡市に問題点を指摘する。</li> <li>・老人人権カレンダーを作成し配布する。</li> <li>・学習したことの発表会をする。</li> </ul> <p>(2) 自分が考えたことを聴き合い，ゲストティーチャーの助言を聴いて見直す。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">聴き合い活動</span></p> <p>(3) 実践する計画を立てる。</p> <p>8 自分ができることを地域の中で実践する。</p> <p>(1) 自分の計画をもとに実践する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分達の計画をもとに，できることを実践する。 ＜体験・交流活動＞</p> </div>	<p>発展課題として提示する。 考える視点を共通課題から設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人でできること</li> <li>・グループでできること</li> <li>・継続できること</li> </ul> <p>自分ができることを聴き合い，互いにそれを認める。</p> <p>ゲストティーチャーに聴き合い活動に参加をしてもらい，助言をしてもらう。 無理のない計画を立てさせる。</p>
	<p>(2) 学習を振り返り，これからの高齢者との関わりについて考える。</p>	<p>自分達もやがて歳老いていくことを考えさせて，まとめの感想を書かせる。</p>

#### 4 本時「疑似体験を行うことにより、高齢者の立場や思いを体感する場面」(5 / 3 1)

#### 5 本時の目標

身近な高齢者の観察や聞き取りをもとに、疑似体験を行うことにより、高齢者の立場や思いを体感し、自他を尊重する態度を育てる。(関心・態度・意欲)

高齢者の不自由さを知ったり、援助の喜びに気付くことができる。(知識理解)

#### 6 本時指導の考え方

これまで子ども達は、理科「体のつくりとはたらき」の学習をし、自分の体について、自分の幼い頃の写真やおうちの方の話などから、自分達の成長について話し合っている。その中で出産、成長、老化、死という人間の一生について学び、今まで意識したことがない体の老化について興味関心を持つようになってきている。さらに歳をとると体がどう変化するのかを考えマップに予想し、地域の身近な高齢者から聞き取りをしたり、様子を観察したりして、高齢者の喜びや身体の様子、困ったことなど調べている。

そこで本時は疑似体験から高齢者の喜びや思い、苦勞を体感し、さらに援助する喜びを味わわせることを主なねらいとしている。

まず、前時までの学習内容の想起をさせる。このとき、掲示物から高齢者の方への聞き取りや様子の観察から身体のことや気持ちのことなど想起させる。特に自分の身体と高齢者の身体の違いに気付かせ、やがて自分達にも身体の変化が起こることを意識させた上で、めあてを提示したい。

疑似体験では、グループごとに行うことを知らせ、場所が分かるように地図を掲示したい。なおここで使う道具に関しては、市民福祉プラザからお借りする。体験活動は2時間セットで実施し、本時はその1 / 2時間目で、1・2・3・4班はA活動(視覚の不自由さ体験・聴覚の不自由さ体験・手指機能低下体験)を行う。また5・6・7・8班はB活動(筋力低下体験・屈曲困難体験・腰曲体験)を行う。

活動では高齢者の立場に立って不自由さを感じ取らせたい。また、高齢者を目の前にして自分が何ができるかを考えさせ、援助する喜びも感じさせたい。これらの疑似体験活動を通して高齢者に対する共感的な理解と協調して共に生きていこうとする態度を身につけることができると考える。

なお記録カードを準備し、その都度メモを取らせるが、ここではできるだけ活動の時間を確保するために簡単に記録するようにしたい。階段などの上り下りもあるので、班で協力して事故が起こらないように配慮し、加配の先生方についていただくように協力をお願いする。

次に、気づいたこと、うれしかったこと、大変だったこと等の視点で記録カードを整理させ、それを学習プリントに貼付させる。

まとめでは、振り返りカードをもとに、体験活動の感想などを全体の場で発表し、聴き合うことのできる支持的学級集団のよさを共有させたい。その後、次時学習では、聞き取りで分かった事・思ったことや体験活動の感想を聴き合い、みんなの学習課題を作っていくことを知らせる。

#### 7 準備

子ども 学習プリント、 筆記用具

教師 振り返りかえりカード

疑似体験の道具

- |                |      |            |
|----------------|------|------------|
| ・セロテープを貼ったゴーグル | 針と糸  | ・サポーター     |
| ・穴のあいたアイマスク    |      | ・手首、足首のおもり |
| ・ビニル手袋         | 紙と鉛筆 | ・背中曲がりキット  |
| ・耳栓            |      | ・つえ など     |



#### 4 本時「聴き合い活動を通して、自分が調べることを設定する場面」( 7 / 3 1 )

#### 5 本時の目標

聴き合い活動を通して自分の考えに友達の考えを生かすことができる。( 関心・意欲・態度 )  
学習課題を解決するための自分が調べることを決めることができる。( 技能・表現 )

#### 6 本時指導の考え方

これまで子ども達は、理科の「体のつくりと働き」と関連した自分の体の成長の学習から、自分達も例外なく老化していくということをとらえている。また、実際に高齢者から自分達とは違う喜びやきつさ、困ることなどの話を聴き、その思いや願いに気付くことができた。そして、アイマスク・耳栓・おもり・関節の固定などをした疑似体験をすることで、高齢者の努力についても目を向け、高齢者に対して思ったことや感じたことを広げることができた。それらの感想や考えたことから学習課題「おじいちゃんおばあちゃん達が、もっと楽しく暮らしていくためには何が必要なのかを見つけよう」を設定し、その課題に対する考えを「考えマップ」にまとめている。

本時は、子ども達が学習課題に対しての考えをお互いに話し、聴くという「聴き合い活動」を通して、自分の考えを付加・修正し、自分の調べることを決めることを主なねらいとしている。

導入段階では、ゲストティーチャーの思いや願い、体験活動からつながる学習課題「おじいちゃんおばあちゃん達が、もっと楽しく暮らしていけるようにするには何が必要なのかを見つけよう」を想起させ、本時のめあてである「自分が必要だと考えることを聴き合い、調べることを決めよう」につなげたい。

展開段階では、自分の考えを持たせて、聴き合い活動をさせたい。そのために、事前に一人ひとりの考えマップから、子どもの考えを把握し、聴き合い活動が活発にできるように助言したい。さらに、自分の考えを整理する時間をとることで自信を持って話すことができるようにしたい。活動では、表現物等を準備するなどして、聴き手にわかりやすく伝えるように工夫させたい。この活動を通して、自分と違う視点を持った友達の考えを聴くことで、自分の考えに生かし付加・修正したり、自分の考えをより深めたりすることができる。さらに、話し手も聴き手も自分の話を受け入れてもらう心地よさを相互に味わうことができると考える。

終末の段階では、深まった自分の考えを発表させ、「生きがい」「健康」「環境」などの項目にまとめることで子ども達が調べる視点を明確にし、自分が調べることを決めさせたい。そして、振り返りカードをもとに、友達の考えのよさ・自分の考えの深化などを観点にして振り返り、学級集団の中で発表しあうことにより、自他を尊重し認め合う態度を育てることができると考える。

#### 7 準備

子ども 考えマップ，筆記用具

教師 学習の流れを表した図，振り返り（自己評価）カード

8 本時の展開

学 習 活 動 と 内 容	教師の支援と子どもの評価活動 教師の支援 子どもの評価活動
<p>1 前時までの学習を振り返り，本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 前時までの学習を振り返り，学習課題を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体の成長</li> <li>・高齢者の方からの聴き取り</li> <li>・疑似体験</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt; 学習課題 &gt;</p> <p>おじいちゃんおばあちゃん達が，もっと楽しく暮らしていけるようにするには何が必要なのかを見つけよう。</p> </div> <p>(2) 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt; 本時のめあて &gt;</p> <p>自分が必要だと考えることをお互いに聴き合い調べることを決めよう。</p> </div> <p>2 聴き合い活動を行い友達の考えを知る。</p> <p>(1) 話す内容について整理する。</p> <p>(2) 友達の考えを聴き合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーの思い</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【ゲストティーチャー】</p> <p>〇〇〇老人会 N さん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えとその理由</li> </ul> <p>&lt; 子どもの考え &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康を保つために運動が必要だと思う。</li> <li>・エレベーターやスロープが必要だと思う。</li> <li>・趣味が必要だと思う。 など</li> </ul> </div> <p>3 友達の考えをもとに，自分の考えを見直したり，付け加えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴き合い活動を通して深まった考えや，友達の考えを付け加える。</li> </ul> <p>4 深まった自分の考えを発表し，調べることを決める。</p> <p>(1) 深まった自分の考えを発表する。</p> <p>(2) 調べることを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな運動がいいのか調べよう</li> <li>・どの場所が歩きづらいか調べよう</li> <li>・どんな楽しみがあるのか調べよう</li> </ul> <p>5 本時学習をまとめ，次時学習について知る。</p> <p>(1) 振り返りカードを書く。</p> <p>(2) 振り返ったことを発表し合う。</p>	<p>本時のめあてをつかませるために，自分の体の成長や高齢者の方の話，体験活動の感想を想起させる。</p> <p>ゲストティーチャーとの交流や体験活動を想起したり，本時のめあてをつかんだりして活動への意欲を持つ。</p> <p>事前に一人ひとりの考えマップを見て，子どもの考えを把握し，必要に応じて個別指導を行い，聴き合い活動を活発にできるようにする。</p> <p>聴き合い活動の手順や態度について確認する。</p> <p>他者評価を聴く中で，友達の考えのよさや自分のよさに気付く。</p> <p>強化・付加・修正したことを「考えマップ」に赤鉛筆で記入させる。</p> <p>友達の考えを取り入れ，自分の考えを付加修正する。</p> <p>活動計画や調べる方法等が出た場合は，認める。</p> <p>発表した内容を「生きがい」「健康」「環境」に分けて掲示する。</p> <p>活動について振り返り，そのことをみんなに伝えたり，友達の意見を聴いたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のよさ</li> <li>・友達のよさ</li> <li>・集団のよさ</li> </ul> <p>自己評価・感想等は全体の場で発表させることで，聴き合うことのできる支持的風土のある学級集団のよさを共有させたい。</p>